



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.10.24 No. 3481

運転士の健康と安全に関するアンケート調査 その2(安全編)

〈事故への不安感〉
(前号よりつづく)
調査の結果、旅客・貨物ともに九六%を超す者が、事故にあうのではないかと不安感を抱きながら乗務していることが明らかとなった。(別表六) また、運転中にヒヤッとしたり、事故を起こしそうで危険だと思った経験をもつ者は、やはり旅客・貨物ともに九五%に及んでいる。
しかし、より問題なのは、ヒヤッとしたり、危険だと思ったりした場合の内容の比率である。「スピードが速く減速

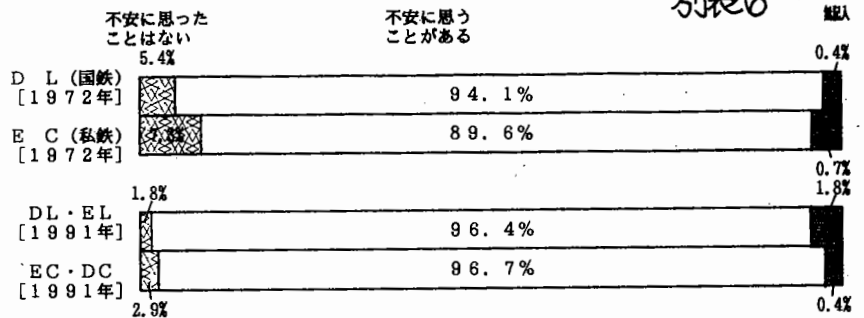
〈事故対策〉
事故対策についてまず指摘しなければならぬことは、旅客の九一%、貨物の九六%が事故の措

〈事故の原因〉
事故の主な原因について見ると、「車両の整備や点検がよくない」「ダイヤが過密である」「労働条件が悪い」「経営の方針が安全中心でない」と答えた者が大幅に増加している。また、七二年の調査にはなかった項目であるが、「運転速度や運転時分の設定に無理がある」に対する回答も、旅客で八四%、貨物で七五%に及んでいる。(別表一一)

以上、調査結果から明らかなのは、効率だけを求める徹底的な労働強化が、鉄道輸送と安全の根幹を担う運転士を限界ギリギリのところまで追い込んでいくということだ。

乗務中の不測の事故にあうのではないかと不安感 (%)

別表6



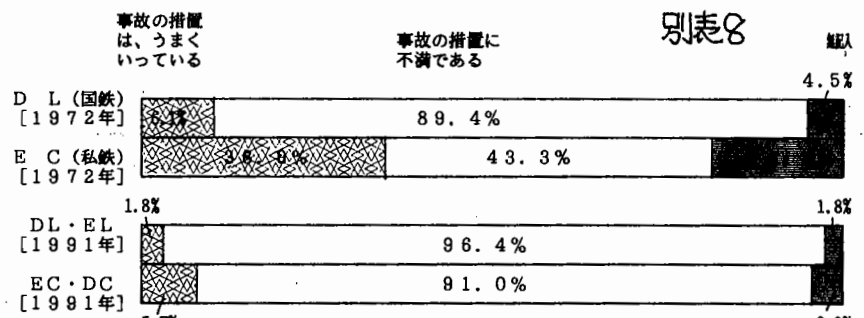
過去1年間に運転中にヒヤッとしたり、事故を起こしそうで危険だと思った場合の内容別経験者比率 (%)

別表7

内容種別	DL (職) [1972年]	EC (職) [1972年]	DL・EL [1991年]	EC・DC [1991年]
急な車両の故障・異常	32.7	14.7	29.8	32.7
無理な積荷(乗客数)	2.9	5.3	5.2	16.8
スピードが速く減速できなかった	3.3	2.3	24.6	36.4
運転中の排尿・排便の必要	14.4	15.6	33.2	36.0
運転中の眠気	34.8	32.7	61.4	52.4
錯覚による操作間違え	11.4	15.7	22.8	20.0

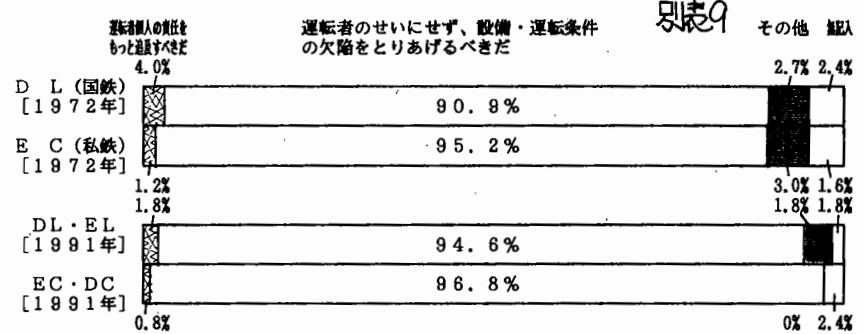
事故の原因調査・処置について (%)

別表8



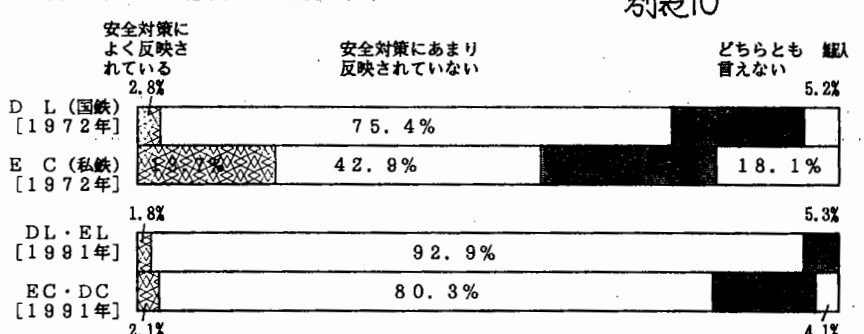
事故の処置に不満な理由 (%)

別表9



安全対策への意見の反映度 (%)

別表10



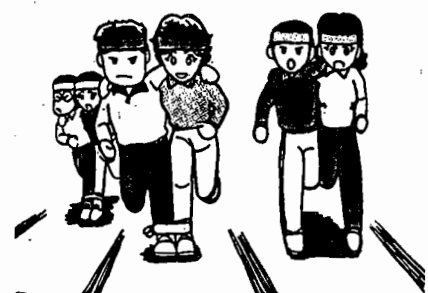
事故の主原因についての意見 (重複選択・%)

別表11

内容種別	DL (職) [1972年]	EC (職) [1972年]	DL・EL [1991年]	EC・DC [1991年]
運転者の責任感が足りない	12.8	13.5	5.2	5.3
運転者の技術が未熟である	6.4	8.7	3.5	4.0
車両の整備や点検がよくない	36.1	24.2	58.6	58.8
ダイヤ(交通量)が過密である	57.4	50.2	70.1	77.0
労働条件・休業条件がわるい	64.9	34.8	89.4	79.9
運転速度や運転時分の設定に無理がある	—	—	75.4	83.6
安全設備がおろそかである	46.7	32.7	52.6	48.3
経営の方針が安全中心でない	55.3	26.7	73.6	79.0

第13回 千葉労働 団結運動会

千葉公園グランド 9時集合



'91 11.4 国鉄千葉動力車労働組合 サークル協議会